NIE実践報告

1．タイトル：伝え合う力を育てる

2．学校名

兵庫県豊岡市立福住小学校

3．実践者名（代表者名）

勝地　香苗

4．学年

4年生

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語　総合的な学習の時間　　１９人

6．単元（本時の学習課題）名

アップとルーズで伝える

7．目標(狙い)

・伝えられることには、送り手の意図があるという視点を持って情報を読み、感じたことを相手に伝えることができる。

8．評価の視点

・テレビの映像や新聞の記事を用いて話し合うことで筆者の主張を理解することができる。
・自分の考え、立場を明らかにして伝えることができる。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

・国語科「アップとルーズでつたえる」（８時間）
・総合「新聞を読んで感じたことや考えたことを伝えよう」（８時間）　　合計１６時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

（１）単元名とリード文を読み、学習の内容を知り見通しを持ち、学習計画をたてる。（２時間）
（２）写真と文章の関係を、それぞれの段落に注意しながら読み進め、文章全体の構成をつかむ。（４時間）
（３）アップとルーズの使われ方を考える。（１時間）
（４）新聞記事を使って、目的にあった写真を選ぶ。（１時間）
（５）新聞を読み、伝えたい記事を選び、発表に向けたまとめをする。（７時間）
（６）まとめたことを、友だちや保護者に伝える。（１時間）

11．児童・生徒の反応、感想・意見

・友達の意見を聞いて、同じ写真でも違う言葉に目をつけていることが分かった。
・記事に合う写真を選んで意見が分かれたけど、送り手によって選ぶ写真が違うことが分かった。

12．成果と課題

新聞記事に合うアップとルーズの２枚の写真を対比させることで、子ども達は、記事の中から理由や根拠を明らかにして意欲的に伝えようとした。また、考えを交流する中で、受け手によってとらえ方や感じ方が違うことに気づいたり、仲間と学び合うことに楽しさを感じることができた。毎日の新聞スピーチを続けることで、自分の考えと比べて聞いたりまだ、仲間とつなげて発表する児童が増えてきた。しかし、自分の考えを伝えることに消極的な場面があるので、授業の振り返りを書く、新聞記事を読んで感想をまとめるなどの活動を意図的に行いたい。